



カンボジア 首都プノンペンにある国立小児病院での見学の様子

令和5年度 国際看護実習

国際看護実習で念願のカンボジアに行ってきました!

思い起こせば2020年の2月。COVID-19の感染拡大によって、国際看護実習として準備していたカンボジア行きを断腸の思いで取りやめました。そして、4年後のこの3月に9名の学生と共にカンボジアへ行くことができました。ウイルスが猛威を振るっていた最中は、医療体制に課題を抱えるカンボジアはどうなってしまうのかと心配をしましたが、今回、一緒に活動してきた看護師たちの元気な顔が見られ、そして、この大変な時期をしっかりと乗り越え、ひと回りもふた回りも成長した姿で学生たちを指導してくれました。参加した学生たちも、病院見学を通し異文化の中で行われる看護を見て、考え、そして看護そのものを振り返る良い機会となりました。多くの関係者が温かく学生を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

基礎看護学分野 教授 望月 経子



クメール・ソビエト・フレンドシップ病院
脳神経外科スタッフとの集合写真

令和5年度 国際看護実習報告

看護学部4年生 竹澤 朱莉 さん



鈴木さん：前列左から3番目
竹澤さん：後列左から4番目

国際看護実習では病院の視察やJICA施設での学びはもちろん、実際に食文化や街の雰囲気、外の暑さを体感することによって現地の方の生活を知ることができました。国際協力をする上で、文化を超えた対象理解をすることの重要性を実感し、まずはカンボジアを知ることができたこの実習は、自分にとって大きな財産となりました。そして、今回の実習は自分にとって初めての海外経験でした。不安もありましたが仲間や先生方、フレンドリーな現地の方々にも助けられ、本当に参加してよかったと思える実習となりました。

看護学部4年生 鈴木 芽衣 さん

私たちがカンボジア現地で国際看護実習を行う初めての学年であったため、楽しみな気持ち半分、不安や緊張もある中で出発しました。現地の病院やJICA事務所を視察する中で、看護師の数が足りず経管栄養剤の注入などのケアの一部を家族が担っているという課題がある一方、看護師の卒後研修カリキュラムの作成などの看護の質を向上させるための取り組みが行われていることを学びました。また、現地の気温や食事、交通ルール、お店の店員さんとの会話など、経験することすべてが刺激的で、本当に充実した忘れられない実習となりました。国際看護実習に行くという挑戦をした自分に自信を持ち、これからも挑戦を重ね、探求し続ける姿勢を忘れずに成長していきたいと思います。



論文博士学位授与式

令和6年2月1日（木）、論文博士学位授与式が開催されました。論文題名 Application of telenursing intervention based on the Kano model among empty-nest older people with chronic conditions（慢性疾患を抱える独居高齢者への狩野モデルに基づく遠隔看護介入の応用）により、本学では初めてとなる論文博士が、袁媛さんに授与されました。



令和5年度 第2回 公開講座

令和6年2月10日（土）、第2回公開講座を開催しました。今回は、理学療法士でもある本学の上條明生講師が「リハビリテーションとセカンドオピニオン～健康に過ごすために～」をテーマに講演しました。理学療法士の現状や日本と海外との比較、効果的なりハビリテーションについてなど様々なデータを用いて説明を行いました。後半には健康に過ごすためにどのような運動がよいかや生活の中で心がけるとよいポイントなど具体的な内容を示しながら参加者からの多くの質問にも対応していました。



当日は64名の学内、学外からの医療職や一般の方、高校生の参加がありました。参加者からは「大変分かりやすい講義で理解が進みました」「誠実で正直な講演で、昔とは違う理学療法の現状がわかり納得しました」「患者さんの納得いくリハビリに納得しました」など好評でした。

広報・交流委員会公開講座担当 伊藤 佑季

実習FD研修会

令和5年度 長野県看護大学 実習FD研修会

学生の学びを育む支援方法
～省察的実践を用いて～

日時：2024年3月1日（金）10時～12時
場所：長野県看護大学 大講義室
講師：三輪 建二先生（星槎大学大学院 特任教授）

内容：学生の授業や実習での学びを支援することについて、学生は主体的な省察的実践者であり、実習指導者や教員は、学生の学習支援をめぐる省察的実践者であるという考え方があります。

ドナルド A. ショーン 著「省察的実践とは何か」の監訳者のひとりである星槎大学大学院特任教授の三輪建二先生をお招きして、学生の学びを育む支援方法-省察的実践を用いて-というテーマで、実習委員会主催のFD研修会を開催しました。コロナ禍が明け、久々の対面研修ということもあり、臨地実習に携わる臨床の方々と本学教員と一緒に参加し学び合う場となりました。研修会では、単にリフレクションのハウツーを用いた省察ではなく、学生の専門職観・探求心を引き出す省察への支援等をご講義いただきました。参加者からは、「直ぐに活かそう」「自分の実践を見直す機会となった」などの感想が寄せられました。穏やかでユーモアのある先生のお人柄もあり、和やかな雰囲気での研修会を終了することができました。

実習委員会FD研修担当 中畑 千夏子、伊藤 郁恵、井本 英津子

令和6年3月1日（金）本学において、ドナルド A. ショーン 著『省察的実践とは何か』の監訳者のひとりである星槎大学大学院特任教授の三輪建二先生をお招きして、「学生の学びを育む支援方法-省察的実践を用いて-」というテーマで、実習委員会主催のFD研修会を開催しました。コロナ禍が明け、久々の対面研修ということもあり、臨地実習に携わる臨床の方々と本学教員と一緒に参加し学び合う場となりました。研修会では、単にリフレクションのハウツーを用いた省察ではなく、学生の専門職観・探求心を引き出す省察への支援等をご講義いただきました。参加者からは、「直ぐに活かそう」「自分の実践を見直す機会となった」などの感想が寄せられました。穏やかでユーモアのある先生のお人柄もあり、和やかな雰囲気での研修会を終了することができました。

実習委員会FD研修担当 中畑 千夏子、伊藤 郁恵、井本 英津子

「次世代北信がんプロ」活動便り

本学が行っている「次世代北信がんプロ」とは、北陸・信州の、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、信州大学と本学の6つの大学がコラボして行っている事業です。これは文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」であり、名称の通りがん専門医療人材を養成するものです。

本学は大学院における「がん専門看護師養成」と共に、長野県および北陸の看護職者のネットワークをつくり、「がん看護アドバンス研修」や「多職種協働研修：IPW (Interprofessional Work)」のプログラムを実施しています。また3月20日（水・祝）には6つの大学共同で「市民公開講座（ホテル日航金沢/WEB配信）」も開き、これからのがん医療の紹介および、本学からは「がんとの共生：緩和ケアと社会的サポート」と題して講演しました。

長野県看護大学 次世代北信がんプロ プロジェクトリーダー 柳原 清子



学生団体活動紹介 アンサンブルサークル

新型コロナウイルス流行のため、活動が制限されていた時期がありましたが、近頃は、サークル活動をはじめ、様々な活動が再び盛んになってきています！



岡谷市の区民センターにてミニ演奏会を開催

新入生の紹介



(写真右端)

看護学部1年生 宇原 琥響 さん

この2ヶ月間を振り返ってみると、毎日が初めての連続でした。1人暮らしやバイト、サークル、大学での講義など何もかもがとても新鮮です。新天地での生活に当初は「上手くやれるかな・・・」と、かなり不安だったのですが意外と慣れるものですね。とはいえやはり看護大学、想像を超える忙しさに翻弄されています。ぎっしりと詰められた講義、日に日に増していく課

題に追われる毎日です。しかし、人の命を預かるという看護師の仕事上、これは当然のことなので日々努力し、能力を高め、効率よく大学生活を営もうと考えています。大学に入ってから生活は本当に刺激的です。楽しみつつ、看護師になるという夢に向かって頑張ろうと思っています。

看護学部1年生 岡本 歩実 さん

新生活が始まり2ヶ月ほどが経過しました。入学前は、初めての一人暮らしと高校とは違った専門的な勉強に楽しみもありましたが、生活面と勉強面の両立や友達ができるかなど不安の方が大きかったです。でも、この2ヶ月間で少しずつ慣れてきて、授業後や休日は友達とサークル活動に参加したり、食堂で学食を食べることが楽しく、充実した日々を過ごしています。初めて習うことばかりで、難しさもありますが、分かりやすく教えてくださる先生方や同じ目標を持ち、勉強する友達がいることで頑張ることができています。また、慣れない一人暮らしを経験することで両親への感謝の気持ちが強くなりました。実家に帰った際は、両親にご飯を作れるように特訓中です。この大学4年間の経験を活かして夢に向かい、頑張っていきます。



(写真左側)

大学院 博士前期課程1年生 今井 さやか さん

私は、県内の中小規模病院で、師長として人材育成に携わっていました。その後、看護基礎教育の現場で看護教員として勤務していました。病院での経験や実習指導の中で、中小規模病院の人材育成や人材確保、定着に課題を感じ、看護管理を研究的により深めたいと思い、大学院へ進学しました。学びと実践をつなげるためにも、現在は、県内の中小規模病院に就職し、病院に勤務しながら修学しています。

大学院では、経験や知識の豊富な教授陣から講義を受けることができ、様々な経験を持つ同期とディスカッションすることにより、知識や思考が広がり刺激となっています。引き続き充実した大学院生活を送れるよう取り組んでいきたいと思っています。



在學生から学部1年生へのメッセージ

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新生活が始まり、楽しみなこと、不安なことなど色々な思いがあるかと思います。私も1年生の時、看護学生といえばキツイ！というイメージがあり、やっていけるのか不安な時もありました。しかし今4年生になってみると、思い出すのは楽しかったことばかりで、この大学に入学して良かったねとよく友達と話をします。

大学生活は時間がたくさんあり、とても自由です。これから看護の勉強はもちろん、アルバイトやサークル、旅行などたくさんの方に興味を持って、全力で大学生活を楽しんでください！

看護学部4年生 上原 萌さん



(写真右端)



(写真後列中央)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学ではマスクを外した皆さんの笑顔がたくさん見られて嬉しいです。いよいよ新生活のスタートですね！私が大学生活で大切だと思うことは「勇気を持って挑戦する」ということです。友人作りに始まり、勉強やアルバイト、サークル活動等に積極的に取り組むことで、自分の世界が広がると思います。また、大学生活を過ごす中で、戸惑いや不安を感じた際には、一人で悩まず、友人や先生、家族、先輩に相談してみてください。本学には力になってくださる方がたくさんいます。

大学生活は勉強や遊びに一生懸命になれるチャンスです。ともに学び、楽しみましょう！

看護学部4年生 脇坂 侑里さん

在學生から大学院1年生へのメッセージ

副師長、師長としての16年間の経験を通じて、多様な職種の人々とのコミュニケーションの場が増え、自分の考えを論理的に伝える重要性を実感しました。この経験が、大学院への進学を決意させるきっかけとなりました。大学院での看護管理学の専攻は、看護に対する多角的な視点を再考する機会となり、実践的な課題や将来の看護について、先生方や同期生との意見交換を通じて、自己の看護観を深めることができました。仕事と学業を両立することは困難もありますが、大学院での学びと先生方や同期との出会いや絆は、学生時代だけでなく、今後のキャリアにおいても大きな財産になると思います。

大学院 博士前期課程2年生 堀内 妙子さん



新任教職員紹介



後列左より

小松 幹男 (教務・学生課主任)
中沢 洋子 (事務局長)
竹内 玲子 (学生支援員)
高比良知美 (情報処理教室補助員)

中列左より

高村 有加 (精神看護学分野 講師)
土屋 優貴 (精神看護学分野 助手)
湯澤 京子 (基礎看護学分野 助手)

前列左より

小原 綾香 (小児看護学分野 助手)
田中 広美 (基礎看護学分野 准教授)
大野 麻美 (基礎看護学分野 助教)

4月に基礎看護学分野の教員として着任しました。

中部地方で生活するのは初めてとなりますが、2つの山脈に囲まれた雄大な風景に圧倒されております。

大学周辺のふれあい花壇は地域の方々の協力によりきれいに手入れがなされており、地元のかたの心の温かさや優しさが伝わってきます。そのような環境のもとで、本学の教職員とともに看護を探究する学生を支援していきたいと考えております。地域の皆様にも温かく見守っていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

基礎看護学分野 准教授 田中 広美

4月から事務局長となりました中沢洋子です。

雄大な駒ヶ岳の姿や、満開の桜から始まり、つつじ、次第に濃くなっていく木々の緑など自然の美しさや豊かさに毎朝毎夕、感動しております。

この素晴らしい自然環境の中で、学生の皆さんが伸び伸びと思いっきり勉学や自分の好きなことに励み、友と語り、楽しく充実した日々を過ごせることを願っております。また本大学がそのような場となるよう支えてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 中沢 洋子

本年4月1日付で着任いたしました教務・学生課の小松です。

40年以上、本県職員をやって参りましたが、この度、まったく初めての職場で、まったく経験のない職務に就くこととなりました。しかも、教務・学生課は人手不足で、これも、また事務職員の宿命か。などと思いつつも、40年の歳月は恐ろしいもので、とりあえず急場をしのがなければならぬとの本能的衝動。というわけで、老骨に鞭を打って務めますが、人の力には限度があり、皆様には大変ご迷惑をおかけすることと思ひます。予めお詫び申し上げます、ご挨拶いたします。

教務・学生課 主任 小松 幹男



母性・助産看護学分野に今年の1月に着任いたしました依田真由子です。

大学病院で周産期医療を行った後に、地域に密着した離島周産期医療を行ってきました。それらの経験をもとに、後輩育成を行うため、大学院で助産に関する研究(霊長類での動物実験研究)を行いながら、大学で母性看護・助産教育を行ってきました。この度、縁あって駒ヶ根にて教育をさせていただくこととなりました。自然豊かなこの地で、学生とともに、広い視野で豊かな感性と知識をはぐくんでいければと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

母性・助産看護学分野 講師 依田 真由子 (令和6年1月着任)

Kandaigram 2024.2～2024.6



2月9日
修士論文研究計画中間発表会



3月1日
卒業記念植樹



3月2日
大学・大学院 学位授与式



4月2日
入学式



5月9日
アカデミックリテラシー
プレゼンテーション



5月26日
地域の皆さんと
河川一斉清掃



5月28日
長野県松本蟻ヶ崎高校
大学見学



6月3日
認定看護師教育課程
開講式

卒業生からのメッセージ 同窓会役員より



今年度、同窓会長に就任いたしました、小池啓介です。私の大学時代は、1年生の終わりから卒業するまでの期間で、新型コロナウイルスの流行もあり、中々学生らしいことをすることができなかつたことが記憶にあります。そのため、学生の皆さんには、大学生活を十分に楽しんで悔いなく卒業してほしいと思っています。

私は今、伊那中央病院で看護師として働いています。今年2年目で、まだまだ未熟な私ですが、看護師として働くことのやりがい、楽しさ、大変さなど感じながら日々患者さんと関わらせていただいています。学生の皆さんは看護師として働くことに対して、期待や不安な思いがあると思います。これらの思いに対して、同窓会として後輩に色々なことを発信していきたいと考えています。

同窓会鈴風会 会長 看護学部25回生 小池 啓介 さん(伊那中央病院 看護師)

駒ヶ根市役所地域保健課で保健師をしております。担当している業務は、主にケアマネジメントや介護予防など、高齢の方々の健康に関する取組や生活のお手伝いをさせていただいています。現在の業務は、訪問や窓口などで市民の方と関わることができ、自身の対応へ直接フィードバックをいただけるので、楽しさややりがいを感じることができます。一方で、疾患だけでなく制度や事業などに対する理解も求められるため、自身の知識・経験不足を痛感する毎日です。

学生の皆様も日々の講義や演習、実習で大変かと思いますが、ご多忙とは存じますが、まずは自らの心と身体を第一に考えながら日々の学びを積み重ねていくことが大切だと思います。陰ながら応援しております。

同窓会鈴風会 副会長 看護学部25回生 鴫澤 啓太 さん(駒ヶ根市役所 保健師)



こんにちは。私は2018年に長野県看護大学を卒業し、今はHCU病棟で勤務しています。

在学中は、国際看護学と国際看護実習を履修し、海外での看護や医療について学ぶことができたことが大きな思い出です。外国の方と接する機会は多くはないですが、文化の違いがあること、慣れない環境や言葉が通じない心細さ、病気を抱える不安など様々な感情を抱く患者さんに、少しでも寄り添うにはどうしたらよいのか、考えさせられることも多いです。

大学で学んだことや経験したことは、どんな場面でも思い出し役立たせることができるものです。卒業後の活躍先もたくさんあるかと思っています。どこへ進んでも、みなさんが在学中に経験したことを活かすことができるよう願っています。

同窓会鈴風会 庶務 看護学部20回生 熊谷 里奈 さん(昭和伊南総合病院 看護師)



INFORMATION



第27回 鈴風祭

テーマ 学祭は自由参加（ひっしゅう）です。

～それガーチャーほんまゴメンやで～
ステージ発表、模擬店、ミニSL、看大企画を予定しています。

開催日 2024年8月31日（土）・9月1日（日）

2024年度 第1回公開講座

きく・はなす・つながる — コミュニケーション

日時 2024年9月14日（土）13:30～15:00（受付 13:00～）

講師 田中広美（長野県看護大学 基礎看護学分野 准教授）

会場 長野県看護大学 大講義室

令和7年度(2025年度) 入学者選抜の募集人員・日程

学部入学者選抜試験

選抜区分	募集人員	選抜期日	出願期間
学校推薦型選抜A (地域特別枠を含む)	24人	令和6年11月30日	令和6年11月11日～11月18日
学校推薦型選抜B	8人	令和7年2月3日	令和7年1月20日～1月27日
一般選抜 前期日程	40人	令和7年2月25日	令和7年1月27日～2月5日
一般選抜 中期日程	8人	令和7年3月10日	
社会人選抜	若干名	令和6年11月30日	令和6年11月11日～11月18日

大学院入学者選抜試験

選抜区分	募集人員	選抜期日	出願期間
博士前期課程	16人	令和6年10月12日	令和6年9月19日～9月27日
博士後期課程	4人		



〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL 0265-81-5100 <https://www.nagano-nurs.ac.jp/>

長野県看護大学学報
No.58（令和6年7月）

編集・発行
長野県看護大学 広報・交流委員会